

令和6年新年あいさつ

一般社団法人全国技能士会連合会会長

大関 東支夫



辰年は龍の如く、「力強く勇敢に知恵深く」

新年あけましておめでとうございます。

皆様どのような新年をお迎えでしょうか。

3年以上続いた「コロナ禍」も落ち着き、ようやく明るい日差しも見えてきましたが、一方で、ウクライナでの戦争は3年目を迎え、ガザ地区での戦闘も終わりが見えません。異常な物価高も続き庶民生活を苦しめています。大きな災害や干ばつが世界中で起きています。地球が壊れてしまったのかのようです。

鬱陶しい思いはありますが、今年の干支は縁起の良い辰年です。辰は龍の年。龍は力強く、勇敢で、知恵深く、変化に富み、縁起の良い架空の動物と言われます。「苦しい時の神頼み」ならぬ、「苦しい時の干支頼み」に賭けましょう。

龍の特徴を持つ人たちが日本の政治、経済、ものづくりにおいて活躍してくれることを期待します。

今年は混迷する世界の中で日本の存在意義は重要になる年です。機能しなくなった国連改革のため日本が常任理事国に推薦されるかもしれません。日本の軍事予算が拡大していきますが世界情勢が変わったのです。ただ、日本は恐れられる国になるのではなく世界平和のために、「尊敬される国」にならなければなりません。ものづくりも人々を幸せにするためでなくてはなりません。

経済面では、日本だけが金融緩和を続けてきたことで円安が起きています。原油、小麦等輸入品は高騰しましたが、製造業等輸出企業では史上最高の利益を上げています。産業の基本は「ものづくり」です。ものづくりが国を救います。日本には衣食住工の匠の技を持つ技能士がいます。

海外からの観光客も増加しています。高品質の衣食住工製品に関心が広まっています。輝いていた昭和時代を再現させるチャンスです。これからが本当の日本の底力を発揮するときです。

今年も多難な年に変わりはありませんが、技能士会は会員の皆様と力を合わせ、困難に立ち向かい、新たな可能性を切り開いていけると信じています。

特別顧問の堀内詔子議員を始め技能士を支援する他の国会議員とも連携して国への要望活動を拡大していきたいと思えます。

技能五輪国際大会が愛知県に招致することがまりました。ぜひ実現して欲しいです。技能士会はこれを励みとして国内技能五輪、グランプリ、匠の技祭典、各種イベントを通して技能継承に力を入れていきます。

皆さん、様々な分野で活躍され、「幸多い一年となりますよう」心からお祈り申し上げます。